

事業所名

ホッグ

支援プログラム

作成日

令和6年

5月

2日

法人（事業所）理念		関わる人すべてが人にやさしく							
支援方針		「出来た」や「楽しかった」と感じる毎日を過ごすことで自己肯定感を育み、一人一人が自分らしく安心して生活出来る居場所作り。自由で自主的な活動や遊びを通じて将来の自分自身のために生きる力を養い身に付けることが出来るように支援しています。							
営業時間		月～金 土 祝・長期休暇	12 10 10	時 00 00	30 分 00	18 時 18	30 分 00	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康状態の把握、会話や声のトーンなどにも注視し、活動時にも様子を観察します。（利用時の身体状況確認※視覚確認・体温測定、表情・顔色を日々観察する。気分や気持ちの不安定さなど普段の生活との違いや変化を観察する。） 服の乱れや清潔を意識出来るように必要な児童に応じてチェックシートを活用します。 水分量・食事量が少ない児童に対しての摂取量確保支援・食材や食べ物に対しての興味向上を行う為にクッキング活動を行います。 余暇活動の幅を広げ充実した日中活動を過ごしてもらうことで生活リズム（睡眠へのスムーズな導入など）を整える支援を行います。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> バランスボール・バランスボードなどを活用した体幹機能トレーニングを実施しています。 姿勢保持を支援するため、クッションなどを活用し特性に合わせた環境整備を行い学習に取り組んでいます。 屋外活動（公園・ボール遊び・なわとび・散歩など）で筋力・体力向上を支援しています。 様々な音や光との触れ合い活動（楽器遊び・室内プラネタリウム・ダンス）で視覚・聴覚を刺激し、工作活動では指先や手の感覚（触覚）を刺激し、感覚機能向上を支援しています。 パズルやプリントを用いた絵合わせ・色合わせなどの活動では視覚情報獲得の基礎力向上を支援しています。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイを用いたソーシャルスキルトレーニングを導入しています。 各種教材（グリッド点つなぎ・棒落とし・形合わせ）に取り組み空間認知能力向上を支援しています。 強いこだわりなど認知の偏りに対し、対話を行い支援します。様々な物事に挑戦する意欲を持つ事が出来るように楽しい空間で、「やってみたい！やってみたらどうなるだろう？苦手だけど頑張ってみようかな？」という本人のもっている資質を発揮出来るようにモチベーションを高める言葉掛けや視覚での情報提示などを行い支援しています。 漢字の学習が苦手を感じている時は物の形を捉えて書き写す支援から始める。数字の学習が苦手だと感じている時はおはじきや視覚的に興味をもてる物質を使用して数字の概念を獲得していく。といったように一人一人に合わせた支援を行っています。 							
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 絵カードやひらがなカードなどを使用し、様々な方法でのコミュニケーション手段を獲得出来るように支援しています。 会話のキャッチボールが出来るよう話しかける際の言葉の伝え方、話すタイミング・聞くタイミングを明確に伝える。ボールを使った会話のキャッチボールなどを集団レクで活用する事で視覚でも認識し理解出来るように支援しています。 支援者の口の動きを確認しながらのマンツーマンでの言語獲得支援を行っています。 相手と視線を合わせ挨拶や会話をする事を日々の支援の中で行っています。 気持ちを言葉にする事が難しい場面では1対1での対話を行い、気持ちの表現方法を支援しています。 							
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 公共マナーの習得支援。（公共交通機関を利用する・買い物に出掛ける・公共の場での団体行動・集団行動においてのマナー） ルールのある集団遊び活動を通してルールを守ることの大切さを理解してもらおう支援を行っています。個々のルールと他者とのルールでの違いを共有し、他者との折り合いを付ける方法を経験する事で身に付けられるように支援しています。 並行遊びや連合遊びを通して他者とのかわりでの楽しさを感じてもらえるように支援しています。 運動会やレクリエーションで他者と同じ目標をもち、協力・協調して目標を達成することで、自己効力感・自己有用感を感じる事が出来るように支援しています。 							
家族支援	その日の学習や余暇活動の内容を日々伝え、興味を持っている様子や意欲的な活動を行っていた際は自宅での療育方法へ変換して提案を行い、家庭と連携して支援に取り組みます。		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 他関係機関と連携を行い、児童期から青年期へスムーズに移行出来るように支援しています。 障がい特性や配慮する事などを就労先等移行時に情報提供を行います。（保護者や本人の意向はその都度確認しています。） 				
地域支援・地域連携	地域の子どもたちと交流したり、地域の店舗へ買い物へ出掛けたり、地域の人と関わりをもち過ごしています。		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 週に1回、①適切な情報共有（認識違いが起こっていないか確認）②ケース会議③社内研修のいずれかを議題にしたミーティング時間を設けています。①では統一した支援を行うことが出来ているのかの再確認②では具体的なケースにおいての支援方法の確立③では障がいに関する知識、児童発達に関する知識を深め理解して支援を行う事を目的として開催しています。 外部研修へ積極的に参加しています。 				
主な行事等	1月 初詣 お正月遊び 2月 節分 バレンタインお菓子作り 3月 ホワイトデーお菓子作り お楽しみ会（お別れ会） 4月 お花見（公園へお出掛け） 壁面工作 5月 子どもの日（工作・クッキングなど） 7月 セタ水遊び 8月 水遊び 夏祭り 9月 敬老の日（工作） 10月 運動会 11月 ハロウィンパーティー 12月 クリスマスパティー 大掃除 上記以外にも、土曜日と祝日はお出かけやクッキングなど多種多様なイベント・レクリエーションを開催しています。								